

東北ハイテク研究会セミナー

大規模水田作経営の可能性を開く!! 子実用トウモロコシの革新的生産・調整技術



セミナー開催の狙い

農林水産省は、令和元年度のカロリーベースの食料自給率38%、飼料自給率25%、カロリーベースの食料国産率（飼料自給率を反映しない食料国産率）47%と発表しました。この発表からも明らかのように、わが国における食料自給率を高めるためには、飼料自給率を高めることが必須であることがわかります。特に穀物飼料の原料となるトウモロコシ、大豆油かす、こうりゃん、大麦などの自給率の向上が不可欠です。そのためには、作付面積の拡大と収量水準の向上が大きな課題となります。飼料作物の作付面積の拡大と収量の向上には、スマート農業技術を含めた大規模機械化体系による適切な栽培管理技術の確立、水田輪作体系の確立による持続的な生産体系の確立、畜産農家との連携による効率的な調整・給与技術の開発、さらには政策的な支援が不可欠です。

今回のセミナーでは、東日本大震災における津波被災地域の水田作及び畜産の復興・再生の大きな柱として期待されている子実用トウモロコシの革新的な生産技術と調整・給与技術を紹介するとともに、産地での普及の取り組み、生産者による安定生産確立への挑戦などを紹介します。

なお、今回のセミナーは新型コロナウイルスの収束が見えない中での開催となりますが、より多くの人々に取り組みを紹介することを目指してOnlineで実施することとしました。

多くの皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。



写真：子実用トウモロコシの収穫風景（東北農研：篠遠氏提供）

開催日等

日時：令和3年11月22日（月） 13:30~16:05

開催場所：オンライン開催（Zoom(ウェビナー)によるライブ配信）

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

協力：「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム
水稻直播および子実用トウモロコシ普及促進会

<セミナープログラム>

主催者挨拶（セミナーのねらい）

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 門間 敏幸 (13:30~13:35)

第1報告 水田転換畑における子実用トウモロコシの高速作業体系
農研機構 東北農業研究センター 研究員 篠遠 善哉 氏 (13:35~14:05)

第2報告 子実用トウモロコシサイレージ：乾燥調製技術および
その給与の取り組みについて
農研機構 東北農業研究センター 上級研究員 嶺野 英子 氏
(14:10~14:40)

第3報告 岩手県紫波町における子実用トウモロコシ産地化の取り組み
岩手県紫波町 農村政策フェロー 小川 勝弘 氏 (14:45~15:15)

第4報告 子実用トウモロコシ9年間の変遷
岩手県花巻市 (有)盛川農場代表 盛川 周祐 氏 (15:20~15:50)

質疑討論 (15:50~16:05)

司会：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 小巻 克己

セミナー参加の申込方法等

- ・11月19日（金）までに、下記の申込フォーム（URL）からお申し込みください。

URL： https://zoom.us/webinar/register/WN_JrN6hWOES6aSPkCFJ2zGlg

- ※ お申し込みの方への登録完了メールは、申込フォームにご記入の「名」宛てで返信されます。
これは、Zoom ウェビナーの設定上のことですのでご理解願います。

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926

E-mail：tohoku-hightech@@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

- ・本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。